



令和3年8月17日発信

報道関係者 各位

「第2回 太田地区の将来を語る会」

～次世代に引き継ぎのできる地域をめざして～

高齢化や後継者不足、荒廃農地の増加など、「人と農地」に係る問題解決に取り組むため、飯山市農業再生協議会の地域組織として「太田地区農業再生センター」が設置されています。

太田地区農業再生センターでは、「次世代に引き継ぎのできる太田地区農業の再生」＝「元気で輝く太田地区」の実現に向け、目指すべき未来を明確化し地域で共有するため、今年度「将来ビジョン」を作成する予定であります。

将来ビジョン作成に向けて全3回の講座等を計画

~~7/25 第1回 鼎談&懇談会~~ 開催済み

8/22 第2回 グループディスカッション

11/14 第3回 ビジョンの策定

「第2回 太田地区の将来を語る会」概要

日時 8月22日（日） 13：30～（受付13：00～）

場所 飯山市太田地区活性化センター 長野県飯山市大字常郷405-1

13：30 ～ 開会式
～ グループディスカッション
14：50 ～ 閉会式

主催：※太田地区農業再生センター

共催：飯山市農業再生協議会、協力：長寿社会開発センター北信支部

※太田地区農業再生センター

構成団体：地元農業委員、区長会、農家組合長会、JA地区役員、担い手農家

事務局：JA ながの アグリサポートみゆき、市役所農林課農業振興係

＜担当課＞

飯山市 経済部 農林課 農業振興係
（課長）丸山 真央（担当者）佐藤 正俊

住所：飯山市大字飯山1110-1

電話：0269-67-0729

ファクシミリ：0269-62-6221

電子メール：nourin@city.iiyama.nagano.jp

次世代に引き継ぎのできる地域を目指して！

「第1回太田地区の将来を語る会」開催しました

去る7月25日トピアホールにて、「第1回太田地区の将来を語る会」を、フリージャーナリストとして地域づくりや協働推進など多方面で活躍される内山二郎さんを進行役にお迎えし開催しました。地域の皆さんを中心に60名ほどの参加をいただきました。

第一部は「若き農業者の未来設計」というテーマで^{ていだん}鼎談が行われました。

祖父より中山間地の水田を引き継いだことをきっかけに、栄養価の高い米づくりに取り組み、自身の名前を冠した米を販売する水野尚哉さん(五荷)、中山間地域の遊休荒廃地を活かし地域の活性化のため豪雪地では不適と思われたワインぶどう栽培に取り組み実績をあげる木原翼さん(瀬木)、二人の農業・地域の将来に向けた熱い思いを語っていただきました。

年々増加する遊休荒廃農地を活用した新しい発想による取り組みは、今後の太田地区の農業のみならず他分野も含めた地域振興への重要なヒントであると感じました。

第二部では来場の皆さんにも参加いただき「旗揚げアンケート方式ディスカッション」が行われました。地域の魅力や10年後の太田地区の姿、今後取り組むべきことについて、多くの意見が出されました。

※ディスカッションの結果については裏面をご覧ください。

第2回 「太田地区の将来を語る会」

と き 令和3年8月22日(日)
午後1時30分より
場 所 太田地区活性化センター
内 容 グループディスカッション
進行役 内山二郎さん(フリージャーナリスト)

テーマ別にグループをつくります。
太田の将来について皆さんで語り合しましょう。

※新型コロナウイルス感染防止のため、
マスク着用で参加ください。

※新型コロナの感染状況によっては開催を中止
する場合があります。その際は防災無線など
で事前にお知らせします。

【問い合わせ先】
市役所農林課農業振興係 67-0729
JA アグリサポートみゆき 62-1779

太田地区農業再生センターでは、「次世代に引き継ぎのできる太田地区の農業再生」II「元気で輝く太田地区」の実現に向け、目指す未来を明確化し、地域で共有するための「将来ビジョン」を作成します。
この将来ビジョンは、農業だけではなく、宿泊、観光、福祉などできるだけ多くの分野の方に参加いただき、地区の総意としてのビジョンであるべきと考えております。

当センターでは、第2回を右記のとおり8月22日に、第3回(最終回、ビジョンのまとめ)を11月14日に開催しますので多くの方の参加をお待ちしております。

【編集後記】地域の皆さんの知恵の結集により、「元気で輝く太田地区」に向けて取り組みましょう。

「おかげさまで」とお互いに言い合える時を迎えるために、大勢の皆さんの参加をよろしくお願いいたします。

事務局(市役所農林課内)担当 前澤

「第Ⅰ回 太田地区の将来を語る会」 旗揚げアンケート方式ディスカッション(令和3年7月25日開催)

設問：1		あなたが感じる太田地区の魅力は何ですか？				
①(赤)	②(青)	③(黄)	④(緑)	⑤(白)		
自然の豊かさ	人の温かさ	食の豊かさ	生活環境の良 さ	その他		
29	4	2	0	0		
		82.9	11.4	5.7	%	
会場の意見						
①雪がもたらす恵み						
①雪がなかったら移住しなかった						
①春先に田に水が必要、貯蔵にも使える(雪室)						
①春の雪解けを見ると心がリセットされて安心する。						
②人の繋がりが資源						
③そば、特にぼくちそばは特色のあるそば						
③食で観光局の皆さんの胃袋を掴んでいた。						

太田の農業振興のため、取り組みむべきことは？					
①(赤)	②(青)	③(黄)	④(緑)	⑤(白)	
農業のしやすい環境整備	人材の育成と支援	農業と多分野の連携・協働	時代を先取りした特色ある農業	その他	
5	7	15	3	2	
15.6	21.9	46.9	9.4	6.3	%
会場の意見					
①基盤整備から時間が経って様々ところが補修必要					
①小さい田の貸して見つからない。整備することで借りてが現れるかも。					
①時代が変わったので現代に合わせた圃場整備必要。					
②先取りとも言えないが、きちんとしたオーガーニックの確立。無農薬米を買ってくれる方の思いを聞いたら「農地を守りたい」という思いを持っていた。					
②農業への支援必要、個人の努力だけでは難しい。					
②農業に関心のある人が増えればいい					
②アンケート結果を見ると10年後はみんな辞めている。多様性を持って残せるようにしたい。					
②やる人が居なくなったら終わりなので人材育成が必要。					
②農業も経営の感覚を持った人材の育成が必要。					
③全て繋がっていて、一つでもかけてはいけない。					
③環境農業を続けてほしい。					
③太田地区は宿泊業との連携が可能					
③アピールの方法、とてもいいものが作られている。					
③太田は観光が重要、水野さんのオーナー田制度などいいと思う					
③観光にきた人がこの環境、農業に興味をもち後に移住してくれるのではないかと					
③グリーンゾーンを充実させるためにみんな連携する。					
③既に連携していることもあるが伝わっていない、情報発信は重要					
③農業だけでは活性化できない、他分野と関わることで生き残る。					
⑤今回のような取り組み自体に興味ある。うまくいって欲しい。					
⑤食育等、地元の物を利用してアピールを。					
⑤農地を遊ばせないことが重要、移住者(U/I)などにぜひ就農してもらえれば手っ取り早い					
⑤行政の支援必要、システムの構築					

設問：2						あなたが望む10年後の太田地区の農業の姿は？			
①(赤)		②(青)		③(黄)		④(緑)		⑤(白)	
農地が足りな いほど農業が 盛んになる		多様な形で農 業に携わる人 の増加		多分野連携に よる活気に満 ちた地域		農ある豊かな 暮らしの実現		その他	
1		11		18		2		2	
2.9		32.4		52.9		5.9		5.9	
会場の意見									
①二人の活動が必ず実を結ぶ、また実を結ぶようにみんな協力が必要でもある。住民の当事者意識は不可欠									
③人口減、農業と自然観光とのコラボ									
③農業が重要な役割を持っているが、それだけでなく他分野連携が必要									
③宿泊と農業などの連携をうまくできれば将来に向けプラスになるのでは									
④雪のない時期は野菜も米も作ることができる。									
⑤オーガニックエリアの設置									
⑤後継者問題がある。10年後は今より荒れているのではないかと。									
⑤荒廃地の増加が課題だが、水野さんや木原さんたちのような方もいるので現状は維持できるかも									